

荒川区議会議員 「体は細いが、芯は太い。」

清水ひろし



ゆいの会(無所属)

からの手紙 マンション管理士

令和7(2025)年 新年度予算号
第107号

滝口新区長になり初となる荒川区令和7(2025)年度予算案は、一般会計1319億円(今年度比8.2%増)の過去最大規模となります。2/14から始まった2月会議において審議されます。新年度予算案の新規・充実施策等について掲載致します。

何の数字?
922,700冊

令和7(2025)年度の主な新規事業

—学校教材及び修学旅行費、小児・高齢者インフルエンザ予防接種 無償化へ—

—子育て・教育・文化—

●区立小・中学校 学校補助教材、修学旅行費等の無償化・・・①学校領収金で購入しているドリル等の補助教材費や遠足代 ②修学旅行、移動教室等の宿泊行事費 ③卒業アルバム購入費が対象。

●小児インフルエンザ予防接種無償化・・・生後6か月から中学3年生までを対象。注射に加え、フルミスト(経鼻弱毒性インフルエンザワクチン)も無償化。

●中学校部活動の地域連携モデル実施・・・(土)日(日)の部活動を民間企業と契約し、地域スポーツクラブと連携して部活動を行う。三中にて数種目の部活動をモデル実施。

●区立小学校への防災キャップ配備・・・各自準備する防災頭巾にかわり、教育委員会が全児童に配備する。

●心の健康観察アプリ導入・・・区立小・中学校に通う児童生徒が、学校のタブレットPCに健康状態を日々入力し、心の課題の早期発見・対応を図り、学校全体としての支援体制を構築する。



—医療・高齢者福祉—

●高齢者インフルエンザ予防接種無償化・・・65歳以上が対象。区内だけでなく23区内の協力医療機関でも無料接種可能に。

●骨粗しょう症検診・・・女性を対象に、区内の整形外科に委託実施。

●介護サービス事業者支援・・・介護報酬請求業務の負担軽減につながる、システム導入の支援を行う。



—防災・安全・街づくり—

●防災・防犯カメラのネットワーク化・・・大規模災害発生時の情報収集の防災カメラを93台設置し、ネットワーク化する。既存防犯カメラのネットワーク化モデル事業を日暮里～西日暮里駅にて実施する。

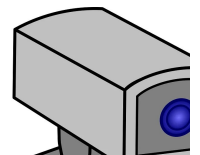
●マンション防災対策・・・在宅避難が普及するよう共同備蓄品の購入支援を推進。

●浸水対策支援・・・建物への浸水対策のために止水板を設置する際の費用補助。

●公園の遊び場充実・・・花火やボール遊び、キャンプ、キッチンカー等、「〇〇禁止」から「〇〇できる」公園へ

●照明のLED化・・・蛍光灯廃止を受け、全共施設の照明設備を順次LED化する。私道照明灯も進める。

●町会・自治会のデジタル化支援・・・デジタル化や人材マッチング支援など多角的に町会活動を支援する。



区立幼稚園3園が閉園

今年度末（本年3月）をもって区立幼稚園3園（東日暮里・南千住第三・尾久）が閉園となります。閉園後、各施設以下のように活用されます。

園名	今後の活用策
東日暮里幼稚園（三日小内）	知的固定特別支援学級を開設する。令和8（2026）年度4月予定。
南千住第三幼稚園	本年4月以降、園舎は社会福祉協議会及び福祉部委託事業に利用する。園庭は自転車駐輪場とする。
尾久幼稚園	園舎除却のうえ、新施設において学童クラブを開設する。あわせて、障がい者施設（アゼリア）の現地建替期間中の仮施設として一部間借りして活用する。令和11（2029）年度運用開始予定。

道路の空洞緊急点検を実施

荒川区では、5年ごとに主要な区道の路面下空洞調査を実施しています（直近は令和4（2022）年度に実施）。

1/28に発生した八潮市での道路陥没事故を受け、下水道幹線が埋設されている路線約12kmの緊急点検調査を2/6に実施しました。

早めに対応が必要な空洞（下水道幹線の破損が起因ではない）が一か所見つかри、対策工事を行いました。

調査イメージ



新年度予算概要 —基金・区債は減少—

区分	令和6年度	今年度比増減額・率
一般予算	1319億円	100億円・8.2%
国保特会	229億円	△9億円・△3.7%
後期高齢者医療特会	57億円	2億円・3.1%
介護保険特会	202億円	10億円・4.9%
合計	1808億円	103億円・6.0%
基金残高	403億円	△72億円
区債残高	137億円	△10億円

歳入 特別区税は、個人所得の好調を受け18億円増の209億円と想定しています。歳入の最も大きい比率を占める特別区財政調整交付金は固定資産税や法人住民税の堅調な推移もあり、25億円増の482億円と見込まれています。

歳出 分野別では、福祉や子育て等の民生費が51.1%を占め683億円、衛生費はインフルエンザ予防接種無償化等により5億円増の53億円、教育費はタブレット端末更改を終えたため20億円減の133億円となっています。

何の数字？ 922,700冊：荒川区立図書館の蔵書数（令和6（2024）年3/31現在）。ゆいの森と地域図書館4館（南千住・尾久・町屋・日暮里）、図書ステーション2か所（汐入・冠新道）の合計冊数。ゆいの森は41万冊を超える。南千住図書館は令和8（2026）年から工事に入り、令和10（2028）年夏にリニューアルオープン予定。

清水啓史（49歳 昭和50（1975）年5/7日生 卯年 A型 おうし座）



寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。平成19（2007）年 荒川区議選初出馬初当選。現在5期目。無所属。マンション管理士。

荒川区議会では文教・子育て支援委員会理事、若者支援・健全育成調査特別委員会委員長、議会運営委員会理事。会派「ゆいの会」幹事長。家族は妻と娘（高1）、トイプードル（チョコ）



〒116-0013 荒川区西日暮里2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail info@shimizuhiroshi.com